

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2024年10月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 88



SPECIAL

看護部の院内教育について



緩和ケア特定認定看護師

松本 静香さん

城山病院看護部は教育委員会を設置し、すべての看護師が日々の仕事を通じて計画的にキャリア開発を目指すために、様々な継続教育を企画・運営・評価しています。教育担当師長を務める松本さんに話を聞きました。

なぜ教育が大切なのか

当院の看護師は358名が在籍しており、看護部では「誠実で相手の気持ちを理解できる看護職」を「育てたい(求める)看護師像」として、急性期医療から在宅看護まで対応できる看護実践能力を身につけ、患者様の笑顔と満足のために、安全で質の高い看護職を育成することを教育理念にしています。

そのためには、①多様化する患者様のニーズに対応できる看護職を育成する②職員の主体的学習を支援し、質の高い看護サービスを提供できる人材を育成する③お互いを思いやる円滑な人間関係を築くことができる看護職を育成する、の3つを教育目的にしています。

まさにこの3つが「なぜ教育が大切なのか」の答えです。

ラダー研修

新卒看護師や中途看護師から高度な看護実践を教示できる看護師まで5つのレベル段階別(クリニカルラダー)教育を実践しています。

ラダーとは「はしご」の意味で、はしごを登るように着実にステップアップしていく仕組みです。このラダー研修は年間計画を立てて、各レベルで3~6回の研修を実施しています。

ジェネラリスト教育

日本看護協会は、ジェネラリストを「経験と継続教育によって習得した暗黙知に基づき、その場に応じた知識・技術・能力が発

揮できる者」と定義しています。

当院でも、患者様の様々なニーズに臨機応変に対応できるための研修を行っています。

今年度は歯科衛生士や歯科医師から口腔ケアの学習や四天王寺大学看護学部の教授から動きの学問として、「キネステティクス体験研修会」など日常のケアに活かした勉強会を行っています。

BLS指導育成研修

BLS研修とは心肺停止及び呼吸停止患者様の救命率を上げる知識・技術の習得を目標とした研修で、その指導者を育成することは急性期医療を担う当院では重要なことです。すべての職員がトレーニングを行えるよう取り組んでいます。

学会発表

日常看護の実践や研究成果を各研究会や学会で発表しています。これまで発表の場は院内だけでしたが、今年度は私自身も6月に日本医療マネジメント学会で「退院支援の質向上に向けた退院後訪問の取り組み」を発表しました。10月には、循環器病棟が「心不全患者の退院後訪問で気づいた退院指導の課題」を発表します。また、12月には大阪府看護学会で脳外科病棟、整形外科病棟も発表予定です。

学会への参加は、医療の新しい知見や他院の取り組みを知ることが出来る学習の場となるので、これからも前向きに取り組んでいきたいと考えています。

学会発表

院内研修以外に「しろやまハイブリット研修会」として、院外の医療職の方にも参加して頂ける研修会を行っています。また、地域の介護施設等からも講師依頼があれば認定看護師が積極的に向向しております。

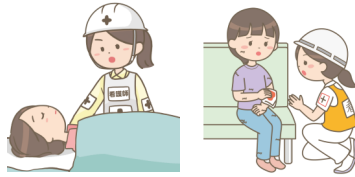
もし、自治会などで看護についての話を希望される場合があれば、お声をおかけください。

城山病院 災害対策訓練の実施

2024年9月8日に城山病院で災害対策訓練を行いました。
今回の災害訓練シナリオは、午前6時45分に淡路島沖で震度7(マグニチュード7.3)の地震が発生という状況を想定しました。

訓練は羽曳野医師会をはじめ、市役所や保健所、天仁病院・運動器ケアしまだ病院・高村病院・藤本病院・丹比壮病院という近隣の医療機関や美原看護専門学校の生徒の皆さんに参加して頂き臨場感のある災害対策訓練になりました。

また、近隣の医療機関や市役所・保健所などが参加して下さることで地域一丸となって訓練をすることができ、充実した内容となりました。様々な課題もある訓練となりましたが、羽曳野市災害医療センターとして日頃からの対策を行っています。



ロボット手術200症例達成

2022年12月にロボット手術センターを開設し、2024年6月には胃がんに対してダヴィンチXiでの手術が保険適用になり、当院でも実施することが出来ました。

そして2024年8月20日に城山病院で行われたロボット手術で200症例を突破しました。城山病院は、看護師や臨床工学技士など多職種で協力しながら安全な手術を提供しております。

これからも患者様にとって身近な病院であり、高度な医療を提供できる病院として努力してまいります。

(※対象疾患:大腸がん、胃がん、鼠経ヘルニア、前立腺がんなど)



ロボット手術について詳しくはホームページをご覧ください。



BLS研修を行いました

城山病院では、BLS指導者研修を行っています。BLSとは、心臓マッサージなどの一次救命処置のことを指します。今年は、医療従事者のための蘇生トレーニングを受講したスタッフが院内のBLSを部署で指導できるように育成することを目標に研修をしています。



城山病院「市民公開講座」開催のお知らせ

2024年 市民公開講座

今年は、医療ロボットをテーマに人工関節・膝関節機能再建センター センター長 村上医師、ロボット手術センター センター長 新田医師の講演になります。是非ご参加ください。

日程: 2024年10月19日(土)

時間: 14:00~16:00(開場:13:00~)

会場: LICはびきの

(羽曳野市立生活文化情報センター)

- ・参加無料
- ・当日参加可能
- ・予約不要



しろやまハイブリット研修会 (医療従事者向け)

ステップアップ心電図
~アレルギー克服! (初級~中級)~

去年に続き、今年は初級から中級の方に向けてお話しします。

日程: 2024年11月1日(金) 17:30~18:15

ミーティングID: 863 8792 5284

パスコード: 754738

ZOOM参加
QRコード



人工呼吸器関連肺炎(VAP)を防ごう!
~根拠に基づいた看護ケア~

人工呼吸器を装着することで同時に起こる大きなデメリット、それがVAPです。人工呼吸器にまつわる看護ケアを根拠を交えてお話しします。

日程: 2024年11月27日(水) 17:30~18:15

ミーティングID: 874 0089 0295

パスコード: 779767

ZOOM参加
QRコード

